



ETV よっかだい 活動報告書



ETV よっかだいとは

「ETV よっかだい」とは、四日市大学の学生が中心となった映像制作グループで、「よっかだい」とは学生が使う四日市大学の愛称です。2011年7月に環境情報学部の学生を中心に結成し、活動を続けてきました。現在の学生メンバーは14名で、環境情報学部のお二人の教授（新田先生、千葉先生）にご指導いただいています。

活動内容

（株）シー・ティー・ワイで放送する番組制作、地域企業のプロモーションビデオ制作、地域からの依頼による動画制作などを行ってきました。

シー・ティー・ワイへは毎月1本の30分番組を納品しています。番組の内容は、四日市大学と地域の関わり、四日市地域の出来事、環境問題、学生の活動、大学の授業や講座などで、教授から依頼があった場合を除き、学生が番組を企画し、構成表とシナリオ作りや撮影と編集については全て学生が行っています。2011年10月から2014年1月までに合計30本の番組を制作しました（表-1）。番組はシー・ティー・ワイの放送網により四日市地域の約16万世帯に毎日流れています。

地域企業のプロモーションビデオについては、地域産業の活性化のお手伝いが目的で、2013年度に6本を納品しました（表-2）。PV内容の企画、企業との打ち合わせ、企業の取材、構成表とシナリオ作り、撮影、編集などを学生だけで行っています。

地域からの依頼による動画制作については、三重県からの依頼で、昨年度のベストプラクティスコンテストの様子を撮影し、短い動画にして納品しました。

また、制作した作品をより多くの方々に見ていただくために、YouTubeで公開しています。また、Facebookページ（<https://www.facebook.com/Etvvyokkadai>）を開設し、自分たちの活動を報告したり、番組を紹介したりしています。

これらの活動をしっかりと進めるために、ETV よっかだいでは、週に一度の定例会を行い、新たな番組の企画や、制作中の番組を視聴し改善点などを議論しています。毎回、夜遅くまでの議論になりますが、このようなコミュニケーションの場が番組作りには欠かせないと感じています。

これからの方向性

授業にしっかり出席しながら、さらに番組やプロモーションビデオの納期を守る作業は本当に大変ですが、大学の授業では体験できない経験をしています。学外の方々と交流することも多く、新しい知識を得たり、人の繋がりや輪を広げることができています。これからの方向性としては、さらに地域に出て、地域の方々と繋がり、地域の役に立つ映像作りを行ってゆきたいと考えています。

表-1

過去の放映番組(CTY)

- 2012年4月 四日市ご当地グルメ・トンテキを探る
- 5月 水俣環境コンテスト
- 6月 もっとネット四日市
- 7月 四日市周辺大気のNO2一斉調査
- 8月 日本の原子力発電所は再稼働すべきか廃炉にすべきか
- 9月 気象番組(台風シーズンに備えて)
- 10月 伊勢湾海洋調査実習 2012
- 11月 ミャンマーを探る
- 12月 2012年度環境スクールin オーストラリア
- 2013年1月 十四川を守る～環境保全と史跡巡り～
- 2月 東北災害支援ボランティア
- 3月 ETV よっかだいの裏側
- 4月 生命のメッセージ展
- 5月 四日市のゴミ問題を考える
- 6月 梅雨特集
- 7月 鈴鹿山脈ブナ林毎木調査
- 8月 農業を目指す若者たち
- 9月 四日市とソーシャルネットワーク
- 10月 世界の舞台で働く卒業生
- 11月 伊勢湾海洋調査実習 2013
- 12月 私が見て聞いて感じたカンボジア
- 2014年1月 地球環境塾&四日市大学国際環境セミナー
- 2月 四日市を知る(東海道の魅力)



表-2

企業のプロモーションビデオ

- 株式会社アンジェロ PV
- 大戸株式会社 PV
- 日本遠隔制御株式会社 PV
- 万協製薬株式会社 PV
- THK 株式会社 PV
- 総合警備保障株式会社 (ALSOK) PV